



和顔愛語



令和2年 10月19日(月) No. 1 文責：古川大輔

今年度、神守中学校では全学年で道徳科の授業づくりに力を入れています。この通信では、「道徳の教科化」や「各学年の実践」について紹介していきたいと思ひます。

さて、道徳は昨年度より「特別の教科 道徳」となり、教科として扱っています。教科になったことで主に次の2点が変更となっています。

①検定教科書の導入

これまでは「明るい人生」という副読本や学校または地域で選んだ教材を扱っていました。教科化となった昨年より、光村図書「中学道徳」を使って授業を行っています。

②記述による評価

評価は数値でなく記述で行います。主に道徳的な価値の理解を基に自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めているかを評価します。

次に、1年間の学習内容を紹介します。

- A 主として自分自身に関すること(自主・自律、節度・節制、向上心、強い意志など)
- B 主として人との関わりに関すること(礼儀、思いやり、感謝、友情・信頼など)
- C 主として集団や社会との関わりに関すること(学校生活、集団生活の充実など)
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること(生命の尊さ、感動など)

上記の内容について主に教科書を使用して年間35時間で学習を進めていきます。内容は全学年共通となっていますので、学年が上がるごとに、考えが深まっていきます。そして、これらの内容は、決して学校の中だけで学ぶだけでなく、家庭や地域の協力も必要となってきます。ぜひ、ご家庭でもいろいろと話題にしてください。道徳に対して意識を高め、

道徳の授業より

1年「一粒の種」(よきよき学校生活、集団生活の充実)

友達が所属する部活動の応援を始めた生徒の物語を通して、学校生活や集団をよりよくするために主体的に行動することの大切さについて考え、自分も積極的に関わろうとする意欲を高める学習を行いました。

<内容>①主人公が仲間を応援しようと思ったきっかけについて。

②郷を「つくりあげる」ことの大さについて周りの行動について。

③学校祭に向けて、どんな「一粒の種」をまくことができるのか。

【私の気づきから】

- ・1人ではできないことでも、仲間と協力すればできて、絆も強まって良いことがいっぱいだと思ひました。

- 自分たちの学校を創り上げるために、自分から提案したり実行したりすることが大切だと思いました。
- 自分の意志で何かをやり遂げようとするのはとても難しいと感じました。だからこそ、色々な人の力を借りたり、共に楽しんだりしていきたいと思いました。

2年 「カラカラカラ」(自主, 自律, 自由と責任)

正しいと思うことでも、いざ行動しようとしたときに迷う場面がある。物語の主人公の気持ちに共感する経験を振り返り、自分で考えて行動することの大切さや実践する姿勢を育てる学習を行いました。

- <内容>①落ちていたゴミに気づき、手に取る
②ごみのことなんて気にしない友人
③何事もなかったようにゴミを拾う男性の姿

【私の気づきから】

- 僕にも良いと思ったのにできなかった経験が結構多いことに気づきました。男性のように、よいことを当たり前のように行動したいと思いました。
- 自分が良いと思っても、行動するには勇気がいるので意外と難しいことだと思いました。「言うは易し、行うは難し」だと思います。周りの目を気にせずに行動するにはどうしたよいか考える機会になりました。
- 自分がやろうと思ったことは、すぐに判断して行動に移すと良いと思いました。時間をかけることが、判断を迷わせると思いました。先にやった方が得と考えて、何事も行動していきたいです。

3年 「ほくの物語 あなたの物語」(公正公平)

肌の色の違い、住んでいる場所の違い、性別の違い、価値観の違い。「みんなちがってみんないい」そんな個人を尊重し合える世界になったら、どれだけ幸福を感じるだろうか。学校生活の場面でも勉強や運動、交友関係の幅などで無意識のうちに上下関係ができたり、自分が知らず知らずのうちに偏見や差別的な考え方をもって生活したりしていないかを見つめ、差別や偏見のない社会を実現するために大切なことを考えました。

- <内容>①最近の差別をめぐる悲しい現実
③あってもいい違い・あってはいけない違いとその基準とは
③差別や偏見のない社会にするために私たちが心がけることって何だろう

【私の気づきから】

- 自分側の見方だけでなく、相手の状況や立場も考えられるといろいろな違いも受け入れられそうな気がする。
- 意見をもつことはいいことだが、相手をむやみやたらに傷つける言葉を言うのは違うと思う。ポジティブなコミュニケーションが広がれば、差別や偏見のない社会に近づけると思う。